

歴史文化社会論講座紀要

第20号

- 漢代賊捕掾考……………章 瀟逸 … 1
- 保田與重郎と民芸運動
—— 柳宗悦と河井寛次郎との比較をとおして —— …… 遠藤 太良 … 25
- 『通典』職官典叙述小考
—— 太僕卿条を手掛かりとして —— …… 小野 響 … 一
- 円地文子「蛇の声」論…………… 後藤 真子 … 一七
- 安部公房とエドガー・アラン・ポー (二)
—— 「手段」「誘惑者」「こじきの歌」「愛の眼鏡は色ガラス」をめぐって ——
…………… 糸賀 寛 … 三

2023年2月

京都大学大学院人間・環境学研究所
歴史文化社会論講座

『歴史文化社会論講座紀要』投稿規定

2021年2月改訂

1. 投稿資格は、原則として、京都大学大学院人間・環境学研究科歴史文化社会論講座（以下、「本講座」と略す）所属の教員、大学院生、退学後3年以内の修士修了または博士後期課程退学（研究指導認定退学を含む）の元大学院生、および本講座で承認された者に限り有するものとする。ただし本講座に関わる教員の共著者として、それ以外の者を含むことができる。
2. 原稿は、本講座と関わる研究論文等で、研究上の倫理公正に十分に配慮した未発表のものに限る。二重投稿は認めない。
3. 掲載原稿は、原則として京都大学学術情報リポジトリに登録・公開するものとする。ただし、執筆者の要望により公開しないことも可能である。
4. 編集委員会は、投稿原稿について学内外の複数名に査読を依頼する。査読者は、①採用 ②語句の一部修正により採用 ③内容面にわたる修正の上採用 ④不採用 を判断する。
5. 投稿原稿の採否は、査読結果を基に編集委員会が決定する。
6. 投稿原稿は、日本語の場合400字詰原稿用紙換算で60枚以内、欧文の場合8,000語以内を目安とする。
7. 投稿予定者は、毎年9月末日までに編集委員または本講座教員に投稿予定表（別添）を提出のこと。投稿締め切りは毎年10月15日とする。
8. 投稿原稿は、プリントアウトした原本1部とそのコピー（計2部）を編集委員のメールボックス（人環事務室内）に提出し、あわせて電子メールに同原稿のファイルを添付して編集委員のメールアドレス宛に送信すること。日本語の場合、A4判の用紙に40字×30行でプリントアウト（縦書き・横書きいずれでも可）し、400字詰に換算した分量（縦横各20字で一枚と計算、その総計枚数）を明記。欧文の場合、A4判の用紙に30行でプリントアウトし、総語数を明記。各頁には通し番号を記入し、注はすべて原稿の末尾につけること（脚注にはしない）。併せて、英文タイトル、執筆者名の英語表記、現職名（大学院生は所属名）を添える。
9. 投稿原稿は完全原稿で提出のこと。著者による校正は再校までとし、校正時における大幅な加筆・訂正は認めない。
10. 著者には本誌5部、抜刷30部を贈呈する。それを超える分の抜刷については、著者の自己負担とする。

〔執筆者紹介〕

章 瀟逸 京都大学大学院人間・環境学研究科 博士後期課程
遠藤 太良 京都大学大学院人間・環境学研究科 博士後期課程
小野 響 日本学術振興会特別研究員 PD (京都大学大学院人間・環境学研究科)
後藤 真子 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程修了
糸賀 寛 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程

歴史文化社会論講座紀要 第20号 2023年2月25日発行

編集・発行 京都大学大学院人間・環境学研究科

歴史文化社会論講座

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

京都大学大学院人間・環境学研究科

印刷所 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2

Journal of History, Culture and Society

Number 20

February 2023

Articles

A Study of the “Zeibuyuan” (賊捕掾) of the Han Dynasty ZHANG Xiaoyi

The Relation Between Yasuda Yojuro and the Folk Art Movement (民芸運動):
Focusing on Yanagi Muneyoshi and Kawai Kanjiro ENDO Taro

A Study of the Description of the Government Offices
in *Tongdian* (『通典』職官典): Focusing on the “TaiPu” (太僕) ONO Hibiki

A Study of Fumiko Enchi’s *Hebi-no-koe* (蛇の声) GOTO Masako

The Relationship Between Kobo Abe and Edgar Allan Poe 2:
On “The Method (手段),” “Beguiled (誘惑者),”
The Song of the Beggar (こじきの歌),
and *Loving Glasses Are Colored Ones* (愛の眼鏡は色ガラス) ITOGA Kan

Course of Social Cultural History

Graduate School of Human and Environmental Studies

Kyoto University